
2018年度秋学期 授業シラバス

科目名： 環境史
担当者： ブルース・バートン (Bruce BATTEN)
曜日と時限： 金・2
教室： C401

授業概要：

地球や自然界といかにして付き合っていけばいいのか。これは、人類が今直面している最大の課題と言っても過言ではない。この授業は、「環境史」の概説であり、地球温暖化をはじめとする現代の環境問題の歴史的背景を理解し、人類の誕生から現在に至るまで、自然界が人間社会に与えてきた影響や人間社会が自然界に与えてきた影響を時代系列に従って考えていく。全世界を対象とするが、適宜日本史特有の現象・問題も取り上げる。授業形式は、分類上「講義」であるが、ディスカッションも可能な範囲で取り入れる予定。

※ この授業は、Obirin e-Learning (Moodle) を使用しているため、学校や自宅のパソコンから授業のサイトを定期的にアクセスすることが要求される。

到達目標：

- 人間社会と自然界との歴史的関わり概略を把握すること。
 - 地球温暖化をはじめとする現代の環境問題の歴史的背景を理解すること。
 - 日本列島特有の歴史的環境問題・現象を知ること。
-

授業計画：

※ あくまでも計画であり、受講生と相談の上変更することもある。

9月21日（金） 授業の内容・進め方

9月28日（金） 自然界と人間
教科書：上、7頁-34頁（第1章～第2章）

10月5日（金） 狩猟採集民
教科書：上、35頁-64頁（第3章）

- 10月12日（金） 農業の発明
教科書：上、65 頁-115 頁（第 4 章）
- 10月19日（金） 古代文明の興亡
教科書：上、117 頁-146 頁（第 5 章）
- 10月26日（金） （学園祭）
- 11月2日（金） 人口誌 (1)
教科書：上、147 頁-193 頁（第 6 章）
- 11月9日（金） ヨーロッパ世界の拡大と生態系
教科書：上、192 頁-260 頁（第 7 章～第 8 章）
- 11月16日（金） 人間による動植物の絶滅
教科書：上、261 頁-312 頁（第 9 章）
- 11月23日（金） 「中核」による「周辺」の搾取
教科書：上、313 頁-360 頁（第 10 章）
- 11月30日（金） 人口誌 (2)
教科書：下、3 頁-67 頁（第 11 章～第 12 章）
- 12月7日（金） 産業化と都市化
教科書：下、69 頁-137 頁（第 13 章～第 14 章）
- 12月14日（金） 資本主義の弊害
教科書：下、139 頁-184 頁（第 15 章）
- 12月21日（金） 環境汚染
教科書：下、185 頁-256 頁（第 16 章）
- 1月11日（金） 展望
教科書：下、257 頁-279 頁（第 17 章）
※レポート提出締め切り

1月25日（金） 発表

授業時間外学習：

オンライン宿題（毎回）

教科書：

【予定】

- クライブ・ポンティング（石 弘之／京都大学環境史研究会 訳）『緑の世界史』（上・下、朝日選書 503・504）朝日新聞社、1994年

※ この本は品切れだが、<http://www.amazon.co.jp> 等中古品を購入することが可能。ただ、受講生の感心（またはできる言語）によって教科書を変更することもあるので、最初の授業までくれぐれも買わないで下さい。

参考書：

【図書館の指定図書】

- ジャレド・ダイヤモンド（倉骨 彰 訳）『銃・病原菌・鉄 一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎』（上・下）草思社、2000年
- ジャレド・ダイヤモンド（楡井 浩一 訳）『文明崩壊』（上・下）草思社、2005年

【その他】

- 鬼頭 宏『環境先進国・江戸』（PHP新書 198）PHP研究所、2002年
- 斎藤 修『環境の経済史 森林・市場・国家』（岩波現代全書033）岩波書店、2014年
- ドナルド・ヒューズ（奥田 暁子・あべ のぞみ 訳）『世界の環境の歴史 生命共同体における人間の役割』（明石ライブラリー〈62〉）明石書店、2004年
- ブライアン・M・フェイガン（東郷 えりか 訳）『古代文明と気候大変動 人類の運命を変えた二万年史』（河出文庫）河出書房新社、2008年
- ブライアン・M・フェイガン（東郷 えりか 訳）『千年前の人類を襲った大温暖化 文明を崩壊させた気候大変動』河出書房新社、2008年

- ジョン・ロバート・マクニール（海津 正倫 訳）『20世紀環境史』名古屋大学出版会、2011
-

成績判定基準：

成績評価の前提として、授業時間数の3分の2以上の出席がなければならない。

成績判定は、（宿題を含め）授業への参加度（50%）とレポートの内容（50%）による。

評価基準は以下の通り：

A=特に優れた成果をあげたもの

B=優れた成果をあげたもの

C=一定程度の要求を満たす成果をあげたもの

D=合格と認められる最低の成果しかあげられなかったもの

F=合格と認められる最低の成果をあげなかったもの

教員との連絡方法：

- オフィス：崇貞館 5F B521 号室
 - オフィス・アワー：火・3、金・1
 - メール：bruce@obirin.ac.jp
-

以上